

[別紙①]

【人権：特別の教科 道徳】

1 日 時：1月16日（金）

2 ねらい：差別や偏見のない社会の実現に向けて、自分の行動や言葉に責任をもち、日常生活で実践する心を育む。

3 本時の展開

	学習内容	指導上の留意点	備考
導入 (約5分)	<p>① 東日本大震災の知っていることについて意見交換する。 平岡南中学校 1. 17の集いについて趣旨を確認する。</p> <p>② 「風評被害」とは何か、知っていることを発表する。 ・原発事故があり、日本の海産物を海外の国が買ってくれなくなった。 ・地域の特産品が売れなくなった。など</p> <p>③ 今回学習する内容は、「全国中学生人権作文コンテスト」の入賞作品であることを知る。</p> <p>差別や偏見のない社会にするために、私たちにできることを考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平岡南中学校で毎年開いている1. 17の集いや、この教材で扱う東日本大震災がどのような災害であったかにふれる。</li> <li>不適切な発言は正し、誤った知識やうわさが新たな差別や偏見を生む可能性があることをおさえる。</li> <li>夏休みにみんなが取り組んだ人権作文の受賞作品であること、そして作者が実際に東日本大震災意を体験した中学生であること（実際の体験）であることをおさえる。</li> </ul>	<p>スライドで紹介</p> <p>ワークシート</p>
展開 (約35分)	<p>④ 人権作文をもとに作成された動画「温かさを分け合って」を視聴する。<b>15分</b></p> <p>⑤ 登場人物の確認と、動画にでてきた「偏見」や「差別」について発表する。 ・放射能が《うつる》と思われた。 ・自分が《汚染》されたくない。 ・放射能は目に見えないので不安や恐怖心から差別が生まれた。 など</p> <p>⑥ 「震災と人権」を考える上で、大切なこと、風評による「偏見」や「差別」をなくすためにできることを考え、発表する。 ・根拠のない思い込みで決めつけてはいけない。 ・正しい知識をもつことがたいせつ。 ・大変な時だからこそ支え合い、分かり合おうと歩み寄る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視聴後、感じたことをワークシートに記入させる。</li> <li>福島原発事故の放射線被ばくへの風評による「偏見」や「差別」とはどういったものだったかをクラスで共有する。</li> <li>主人公である「満男」の心情にせまり、海人や優花の目線で、自分にできることを考えさせる。 心情① 電話で差別があることを知ってしまったときの満男 心情② 教室を出て、1人で時間を過ごす満男 心情③ テニスコートにラケットを置いて去ろうとしたときの満男 周りの人たちはどうしてだろうか？</li> </ul>	<p>動画視聴</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>
まとめ (約5分)	<p>⑦ これからの自分にできることや学習の感想をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに記入させる。</li> <li>※時間に余裕があれば、原作紹介</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>原作</p>